

2016年度組織学会研究発表大会プログラム

第一日 6月11日(土) [午前:大学院生セッション 午後:研究発表セッション]					
会場	会場A	会場B	会場C	会場D	会場E
教室名	103 (1階)	104 (1階)	105 (1階)	201 (2階)	202 (2階)
セッション	【大学院生セッション1】				
司会	藤村 まこと(福岡女学院大学)	山岡 徹(横浜国立大学)	小野 善生(滋賀大学)	竹中 厚雄(滋賀大学)	犬飼 知徳(中央大学)
9:50-10:10	1 <b>[A1]</b> ワーク・エンゲイジメントと心理的well-beingの関連性についての研究 -社会活動の参加意欲を考慮して- 里 政幸(筑波大学)	<b>[B1]</b> CoPS開発過程における結び目のない連鎖による迅速な役割分担の形成 今井 寿子(立命館大学)	<b>[C1]</b> 組織ルーチンの学習過程と埋め込みの影響: A高等学校における課外活動の事例 菅井 俊輔(京都大学)	<b>[D1]</b> スプリング・ボードではねる力 -新興国企業によるクロスボーダーM&Aの事例研究- 龔 園園(京都大学)	<b>[E1]</b> 複雑な製品システムにおける"ボトルネック"をめぐるサプライヤーの戦略 -半導体産業のIPベンダーとファンダーを事例に- 蔡 達賢(横浜国立大学)
10:10-10:30	2 <b>[A2]</b> 組織に基づくアイデンティティの形成過程 -ワークショップの自己紹介場面のエスノメソロジー分析- 北野 清晃(京都大学)	<b>[B2]</b> 組織の構造的二重性のプロセス -新規技術の製品化に至るまでの事例分析- 鈴木 りさ(名古屋大学)	<b>[C2]</b> ラディカルな組織変革の実証的再検討: Y市の官民連携の事例分析 町田 裕彦(筑波大学)	<b>[D2]</b> 中小企業の海外進出における外部専門家の支援プロセス -グラウンテッド・セオリーによるアプローチ- 柴原 友範(筑波大学)	<b>[E2]</b> ジョイント・ベンチャーの特性が競争レスポンス・スピードへ与える影響 -策定スピードと実行スピードに分けた実証研究- 佐々木 博之(早稲田大学)
10:30-10:50	3 <b>[A3]</b> 組織アイデンティフィケーションのプロセス: 入社前の学生を対象として 土屋 佑介(神戸大学)	<b>[B3]</b> ゴジラとダースベーダ、どちらが魅力的か? -製品開発チーム構成員の固定度合いと製品の市場における成果:日米映画産業を題材に- 金 東勲(一橋大学)	<b>[C3]</b> 組織のコミュニケーション・ネットワークとクロス・ファンクショナル・チームの知識統合 -中国IT企業の事例- 王 亦軒(名古屋大学)	<b>[D3]</b> 中国太陽電池産業の急成長に関する考察 -中国江蘇省無錫市太陽電池産業の事例- 王 文(一橋大学)	<b>[E3]</b> 内部化の理由としての能力構築 -IT開発機能の内部化についての事例研究- 羽田 祥子(京都大学)
休憩(10分)					
セッション	【大学院生セッション2】				
司会	山野井 順一(早稲田大学)	涌田 幸宏(名古屋大学)	松嶋 登(神戸大学)	岡田 美弥子(北海道大学)	原口 恭彦(広島大学)
11:00-11:20	4 <b>[A4]</b> 企業規模と研究開発の関係について: Worldwide TOP1000 2005-2014の実証分析 林 征治(立教大学)	<b>[B4]</b> NPOと企業のパートナーシップ形成に関する研究 松野 奈都子(早稲田大学)	<b>[C4]</b> 制度決定論と戦略的構築論の制度概念の統合: 地上波東京キー局による制度の構築 渡辺 圭史(首都大学東京)	<b>[D4]</b> ウェブ上のコミュニティとコミュニケーション・パターンに関する研究 -動画共有サイトを題材に- 蔣 博文(名古屋大学)	<b>[E4]</b> フラットな組織構成の効果と機能 -創造性に注目して 樋口 あゆみ(東京大学)
11:20-11:40	5 <b>[A5]</b> 日本は研究者の流動性を高めるべきなのか: 特許データを用いた発明者の定量分析 山口 翔太郎(一橋大学)	<b>[B5]</b> 富士ゼロックスの在宅医療支援からみる地域課題の発見と事業化 阪本 夏美(横浜国立大学)	<b>[C5]</b> 制度的同型化とその後の成果における差異の考察 -短期大学の4年制大学への改組の事例をもとに- 野呂 教行(首都大学東京)	<b>[D5]</b> 顧客間インタラクションのマネジメント -ハローダビッドソンジャパンを事例に- 山城 慶晃(東京大学)	<b>[E5]</b> 組織における問題と意思決定プロセスの不一致 宮川 千幸(一橋大学)
昼休み(11:40~12:50)					
セッション	【研究発表セッション1】				
司会	安本 雅典(横浜国立大学)	藤原 雅俊(一橋大学)	高尾 義明(首都大学東京)	守島 基博(一橋大学)	宮尾 学(神戸大学)
12:50-13:30	6 <b>[A6]</b> 日系企業の育成購買戦略に関する研究 -タイの自動車サプライチェーンの事例- 加藤 厚海(広島大学)・下野 由貴(名古屋大学)	<b>[B6]</b> 独立系バイオ医薬品企業における研究と開発の分離 -独立系バイオ医薬品企業アムジェン社の事例- 宮重 徹也(富山高専専門学校)・藤井 敦(北九州市立大学)	<b>[C6]</b> Organizational ambidexterityの境界条件に関する実証研究 鈴木 修(関西学院大学)	<b>[D6]</b> 制度化とカテゴリー化間の不協和音、そして新参者の外集団化 -韓国中途正社員の離職意図に関する実証研究- 金 善熙(立教大学)	<b>[E6]</b> カニバリゼーションを原因とした同質化の遅れの研究 柴田 健一(筑波大学)・立本 博文(筑波大学)
13:30-14:10	7 <b>[A7]</b> グローバル・エコシステムでのプラットフォーム戦略の成功要因: 半導体装置産業の実証研究 立本 博文(筑波大学)	<b>[B7]</b> 新産業の振興 -電子ペーパービジネスの事例研究- 鈴木 薫(一橋大学)	<b>[C7]</b> 環境と経済の両立のための組織インターフェイスを求めて -文化、ケイパビリティによるアプローチ- 木全 晃(香川大学)・板倉 宏昭(香川大学)	<b>[D7]</b> 派遣社員の「派遣元からの組織支援認識(POS)」が派遣先での組織行動に及ぼす影響 蔡 仁龍(専修大学)	<b>[E7]</b> デジタルカメラにおけるコモディティ化後のデザイン競争の分析 後藤 智(東洋学園大学)
休憩・準備(20分)					
14:30-16:00	特別セッション 会場 (三木記念講堂) 植垣米菓株式会社 専務取締役 植垣智博氏 株式会社ワン・ダイニング 代表取締役社長 高橋淳氏 ヤエガキ酒造株式会社 代表取締役社長 長谷川雄三氏 司会:安室憲一(大阪商業大学)				
休憩(20分)					
16:20-17:40	高宮賞授賞式・会員総会 (会場:三木記念講堂)				
休憩・移動(20分)					
18:00-19:30	懇親会 (会場:大学会館)				

  

第二日 6月12日(日) [午前:高宮賞受賞者セッション・研究発表セッション 午後:研究発表セッション]					
9:30-10:40	高宮賞受賞者セッション (会場:三木記念講堂)				
休憩(10分)					
会場	会場A	会場B	会場C	会場D	会場E
教室名	103 (1階)	104 (1階)	105 (1階)	201 (2階)	202 (2階)
セッション	【研究発表セッション2】				
司会	山下 勝(青山学院大学)	安藤 史江(南山大学)	吉村 典久(和歌山大学)	山田 幸三(上智大学)	谷地 弘安(横浜国立大学)
10:50-11:30	8 <b>[A8]</b> 音楽産業の組織研究におけるコンフィギュレーションアプローチの検討 八木 良太(尚美学園大学)	<b>[B8]</b> 知識移転が阻害する知識活用 -オープンイノベーションを対象とした定性研究 福山 泰生(京都大学)・舟津 昌平(京都大学)	<b>[C8]</b> 企業のガバナンス特性が粉砕決算に与える影響に関する実証分析 青木 英孝(中央大学)	<b>[D8]</b> 非営利型コーポレートベンチャリングに関する考察 -理化学研究所におけるベンチャー創出- 新藤 晴臣(大阪市立大学)・山田 仁一郎(大阪市立大学)・松岡 久美(香川大学)	<b>[E8]</b> 意味的価値の機能変換 マッサージチェアの「ストレスケア」考察 氏田 壮一郎(関西学院大学)
11:30-12:10	9 <b>[A9]</b> クリエイティブチームのパフォーマンスに対する個人内多様性の影響: 音楽産業の実証研究 永山 晋(早稲田大学)	<b>[B9]</b> 利他的な知識提供行動の決定要因に関する考察 -イントラネットを用いた企業内知識移転システムの利用事例から- 西村 文亨(九州電力株)	<b>[C9]</b> 日本企業の人事部門は強いのか: 人事担当役員データの分析 島貴 智行(一橋大学)	<b>[D9]</b> 存続優先のファミリーアントレプレナーシップのプロセス 小林 康一(高千穂大学)・秋澤 光(ファミリービジネス研究所)・曾根 秀一(静岡文化芸術大学)	<b>[E9]</b> 工業デザイナーの技術開発への寄与とその要因 吉岡(小林) 徹(一橋大学)
昼休み(12:10~13:10)					
セッション	【研究発表セッション3】				
司会	軽部 大(一橋大学)	根来 龍之(早稲田大学)	山倉 健嗣(大妻女子大学)	平野 光俊(神戸大学)	永田 晃也(九州大学)
13:10-13:50	10 <b>[A10]</b> 技術者の思考、コミュニケーションのプロセスと情報探索ネットワーク 竹田 陽子(横浜国立大学)	<b>[B10]</b> 製品開発における長期安定的取引とオープンソースコミュニティの影響 宋 元旭(東京大学)・安本 雅典(横浜国立大学)・許 経明(東京大学)	<b>[C10]</b> 日本の鉄鋼産業と自動車産業間の企業間関係 西尾 精一(東京工業大学)	<b>[D10]</b> 不祥事・惨事の背後に潜むresident pathogensとしてのCollective Myopia[集合近眼] 築達 延征(広島大学)	<b>[E10]</b> 中小企業における医療機器品質マネジメントシステム認証取得行動に関する実証分析 塩谷 剛(同志社大学)
13:50-14:30	11 <b>[A11]</b> イノベーション活動に関する目標設定と資源配分の関係 小野 美和(デロイト トーマツ コンサルティング合同会社)	<b>[B11]</b> オープンソース開発プロジェクトにおける価値観変容の定量的把握 八田 真行(駿河台大学)	<b>[C11]</b> 取引関係の戦略とパフォーマンス: 自動車部品サプライヤーを対象とした実証分析 近能 善範(法政大学)	<b>[D11]</b> 固定的な取引関係と専門職の独立: 企業、特許事務所と弁理士の三者関係を題材に 中本 龍市(福山女学院大学)・高井 計吾(京都大学)・野口 寛樹(福島大学)	<b>[E11]</b> プロセスマネジメントが繰り返す化学災害に与える影響: 組織のモメンタムの方向転換に関する実証研究 大江 秋津(日本大学)
14:30-15:10	12 <b>[A12]</b> プラットフォーム製品戦略における「階層介入」の考察 -ドミナント化モデルと効果と影響の観点からのNetflixとLINEの事例分析- 加藤 和彦(名古屋産業大学)	<b>[B12]</b> プラットフォーム製品戦略における「階層介入」の考察 -ドミナント化モデルと効果と影響の観点からのNetflixとLINEの事例分析- 加藤 和彦(名古屋産業大学)	<b>[C12]</b> サプライチェーン・レジリエンスの形成能力に関する研究 -サプライチェーンの機密情報の共有に着目して- 加藤 厚海(広島大学)・岡本 生子(広島大学)	<b>[D12]</b> タスク・コンフリクトにおける対立回避行動がジェンダー・ディコトマイゼーションに与える影響 穴戸 拓人(武蔵野大学)	